

第 5 回：茶道文化の振興

会長 田中 仙堂

振興とは、外から力を加えて、盛んにすることです。外からなので少しお役所的な印象を与える言葉です。また、刺激を与えなくてもすでに盛んになっているものに対しては、わざわざ振興する必要はないという傾向にもなります。

平成二年に、三徳庵を設立したときに、新たな事業として茶道文化学術賞・茶道文化学術助成金の制度を設けました。当時はまだ、茶道に対して、まともな学問の対象ではないという考え方も残っていて、茶道を真剣に学問的に研究する人はごく限られていました。真剣に取り組む人が増え、その成果を、茶道を学ぶ私たちにも還元するようになって欲しいと考え、外から刺激を与えて、盛んにしようと考えて設立しました。

しかし、三徳庵が振興の対象と考えるのは、何も学術振興に限ったことではありません。風を送り込んで火の勢いを盛んにしようという対象ならば、振興して良いと考えております。昨年から、学校に風を送り込もうとしているのは、ご承知の通りです。三徳庵の興す風を、皆様が増幅させてくだされば、社会に影響を与えられます。

平成 25 年 5 月発行 会報「えんじゅ 75 号」掲載